

令和6年度進行管理・評価シート
長浜歴史的風致維持向上計画（令和2年8月26日認定）
（最終変更 令和6年3月25日）

□進捗評価シート(様式1)

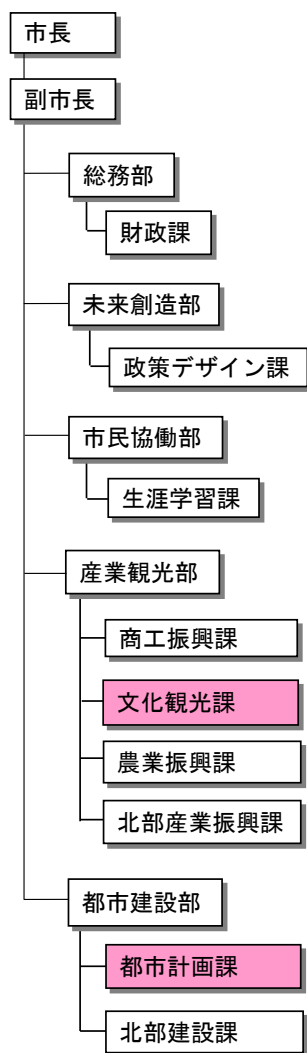
①組織体制(様式1-1)	
1 都市計画課と文化観光課の連携及び 長浜市歴史まちづくり協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観条例・屋外広告物条例の施行状況	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 山蔵保存修理事業	3
2 大通寺伽藍群保存修理事業	4
3 黒壁ガラス館本館耐震改修事業	5
4 歴史的建造物保存活用事業 伝統的街並み景観形成事業	6
5 屋外広告物修景顕彰事業	7
6 伝統的建造物群保存地区選定調査検討事業	8
7 豊公園再整備事業	9
8 木之本宿道路整備事業	10
9 長浜曳山祭保存伝承事業	11
10 きもの大園遊会開催事業	12
11 ふるさと夏まつり「地蔵縁日」開催事業	13
12 木之本宿まちなか再生事業	14
13 北国街道木之本宿にぎわい創出事業	15
14 観音の里ふるさとまつり開催事業	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査	17
2 文化財の保存・修理等	18
3 文化財の防災	19
4 埋蔵文化財の取扱い	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 新たな拠点 期待高く 江北図書館新館オープン	21
2 甲冑武者勇ましく 長浜「豊公まつり」凱旋再現練り歩く	22
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 市民を対象としたアンケート結果	23

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	24
-------------------------	----

評価軸①-1

組織体制

評価対象年度		令和6年度		
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況		
都市計画課と文化観光課の連携及び長浜市歴史まちづくり協議会の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
計画に記載している内容	長浜市歴史まちづくり協議会を中心としながら、認定計画の推進を図る。また、都市計画課と文化観光課が主体となり、連携を図りながら認定計画の実施・推進に向けた協議、連絡調整を行うこととする。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
文化観光課と都市計画課が協議・連携して事業の推進を図っている。また、事業の進捗状況等について、法定協議会である長浜市歴史まちづくり協議会を開催し、協議を行った。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画を推進していく上で、都市計画課と文化観光課を中心に、関係各課との連携、調整に努める。			
状況を示す写真や資料等				



庁内連携体制



第23回長浜市歴史まちづくり協議会の様子

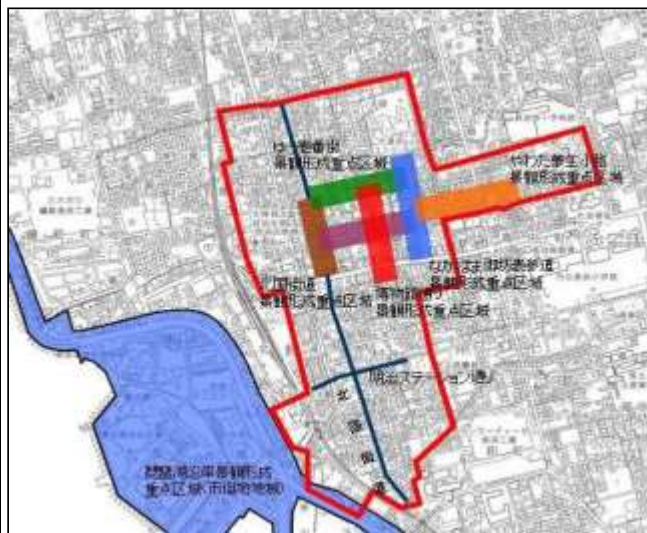
○第22回長浜市歴史まちづくり協議会
 開催時期: 令和6年8月23日(金)
 開催場所: さざなみタウン 1-C会議室

○第23回長浜市歴史まちづくり協議会
 開催時期: 令和7年1月29日(水)
 開催方法: 長浜市役所1階 多目的ルーム3,4

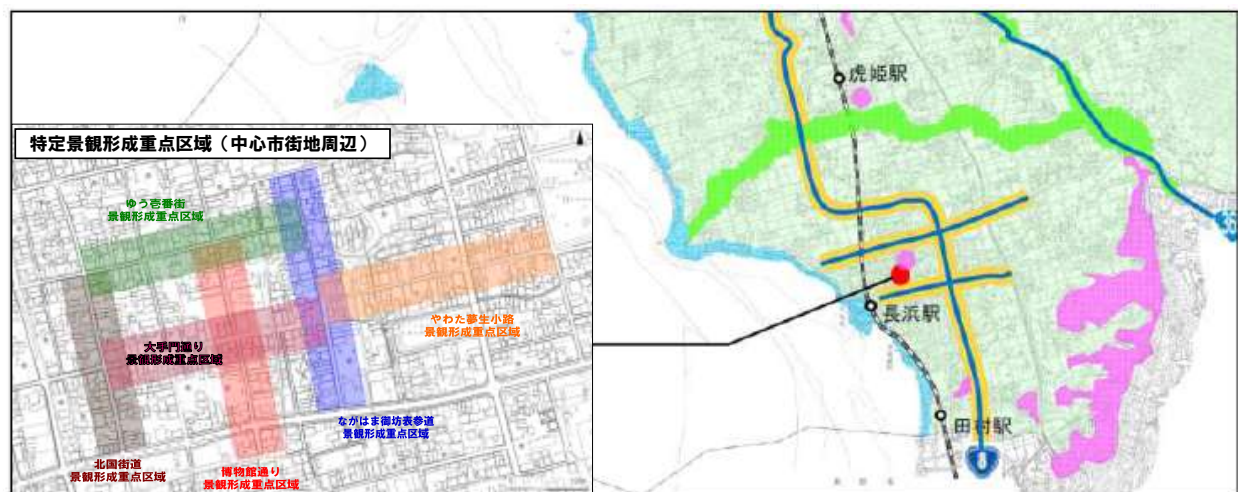
評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和6年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況
景観条例・屋外広告物条例の施行状況		<div><input type="checkbox"/>実施済</div> <div><input checked="" type="checkbox"/>実施中</div> <div><input type="checkbox"/>未着手</div>
計画に記載している内容	本計画の重点区域に、景観の重点区域を指定し、周辺の町並み景観と調和した建築行為等が行われるよう、規制誘導を行っている。また屋外広告物については、平成24年度から市条例を施行し、より質の高い屋外広告物によって魅力的な町並み景観が創出されるよう、良好な屋外広告物の規制誘導に努めている。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
本計画の重点区域内において、良好な景観形成を図るため、長浜市景観条例及び長浜市屋外広告物条例に基づき、審査指導を行った。 令和6年度 景観法に基づく届出件数 5件 令和6年度 屋外広告物許可件数 0件		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<div><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している</div> <div><input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</div>	良好な景観形成を進めていくため、引き続き制度の趣旨や目的を周知し、住民等の意識向上を図っていく。	
状況を示す写真や資料等		



歴史的風致維持向上計画の重点区域及び景観の重点区域



屋外広告物の規制地域概要図

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		評価対象年度	令和6年度
山蔵保存修理事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～令和11年度		
支援事業名	県文化財保存事業費補助金/市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物に指定した13の山蔵について、損傷した壁面や扉、雨樋などの破損状況に応じ、保存修理が必要になったものについて、順次保存修理を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度修理実績 3件(応急修理:孔雀山・諫鼓山・萬歳樓) このほか、令和7年度修理対象案件(3件)の事前調査を実施した。 ※過去の修理実績 平成22年度～平成30年度:7件 令和元年度～令和5年度:2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、計画的な修理や調査を実施し山蔵の保存修理を進める。		
状況を示す写真や資料等			



長浜曳山祭孔雀山山蔵
(漆喰の剥落修繕)



長浜曳山祭諫鼓山山蔵
(漆喰の剥落修繕)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況
大通寺伽藍群保存修理事業		<div><input type="checkbox"/>実施済</div> <div><input checked="" type="checkbox"/>実施中</div> <div><input type="checkbox"/>未着手</div>
事業期間	平成29年度～令和11年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	大通寺の伽藍群の一部である講場(総会所、茶所、因講、二十八日講)について、保存修理設計調査を実施し、破損状況を把握したうえで、保存修理を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
大通寺の伽藍群の一部である講場のうち、茶所、因講、二十八日講について、現状の維持管理が困難であることから、各建物の実測調査、記録写真の撮影、瓦(紀年銘入のみ)の保存、古文書調査等を実施したうえで、取り壊しを行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<div><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している</div> <div><input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</div>	調査で明らかになった各講場の構造や増改築の歴史等を、広く伝え活用する方法を検討する。	

状況を示す写真や資料等

■ 重要文化財
■ 市指定文化財
■ 講場(文化財未指定)

因講解体前

因講解体後

二十八日講解体前

茶所解体前

茶所解体後

二十八日講解体後

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和6年度	
評価対象年度	令和6年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)	
現在の状況	
黒壁ガラス館本館耐震改修事業	■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	令和2年度～令和3年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成27年度～令和3年度
計画に記載している内容	明治33年に旧第百三十銀行長浜支店として建築された黒壁ガラス館本館は、老朽化により、内外壁のひび割れや床面の傾きなどが生じており、来館者の安全性が確保できないため、建築物の長寿命化と耐震の改修を実施する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
令和2年12月から耐震改修工事に着手し、令和3年3月に工事が完了した。 【工事概要】外壁の内側に荒壁パネル(補強パネル)を取り付けるとともに、柱と梁の接合部に耐震リングを設置した。 その他改修工事:屋根葺き替え、内外部塗装改修、金庫室レンガ撤去、空調改修等を実施した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

改修前



改修後



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和6年度		評価対象年度
現在の状況		令和6年度
歴史的建築物保存活用事業・伝統的街並み景観形成事業		<div><input type="checkbox"/>実施済</div> <div><input checked="" type="checkbox"/>実施中</div> <div><input type="checkbox"/>未着手</div>
事業期間	平成20年度～令和11年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	重点区域である長浜城下町区域及び北国街道木之本宿内にある歴史的建築物を保存活用する際や伝統的な街並み景観の維持形成に配慮して町家、店舗、住宅等を改修する際に、補助金を交付する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
歴史的な街並み景観の維持・向上に努めることにより、まちの魅力向上を図った。 令和6年度の採択件数:3件(住宅の外観改修0件、店舗の外観改修2件、内装改修1件) ※平成20年度～令和5年度の改修実績は61件		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<div><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している</div> <div><input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</div>	令和5年度から「まちなか出店支援事業」として、遊休不動産を店舗として活用する事業に対して補助金を交付するものに制度変更しており、空き町家の維持活用を後押ししている。さらに令和6年度からは、活用する遊休不動産が町家である場合は補助金を加算することにより、町家の活用を促進している。	
状況を示す写真や資料等		

改修前

改修後

・元浜町



・木之本町



・他一件内装改修

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度		
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況		
屋外広告物修景顕彰事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成24年度～令和3年度			
支援事業名	市単独事業			
計画に記載している内容	市屋外広告物条例及び市景観まちづくり計画に基づき、景観まちづくりを推進するため、屋外広告物の修景を行うとともに、優れた屋外広告物を顕彰する。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
平成24年度から令和3年度までの10年間、長浜市景観広告の公募・審査・選定・表彰にかかる事業を実施した。取り組みの成果を市民に周知するため、令和4年に「長浜景観広告賞まち歩きマップ」を作成した。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない				
状況を示す写真や資料等				

長浜景観広告賞選定実績

平成24年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 平成25年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 平成26年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 平成27年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 平成28年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 平成29年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 平成30年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 令和元年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞3点
 令和2年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 令和3年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点

総選定数: 景観広告大賞10点 景観広告賞39点 合計49点
 HP <https://www.city.nagahama.lg.jp/0000010963.html>



令和4年度作成 長浜景観広告賞まち歩きマップ



平成24年度大賞 小山仁商店



平成27年大賞 JR長浜駅



平成28年大賞 株式会社 浜湖月

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
伝統的建造物群保存地区選定調査検討事業		<div><input type="checkbox"/>実施済</div> <div><input checked="" type="checkbox"/>実施中</div> <div><input type="checkbox"/>未着手</div>	
事業期間	令和2年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統的な建造物が数多く残る北国街道木之本宿区域において、伝統的建造物群保存地区の決定に向け、建造物の調査及び保存対策を実施するとともに保存区域について検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度～令和3年度:伝統的建造物24棟(主屋11棟、土蔵7棟、その他6棟)の調査を実施 令和5年度:伝統的建造物保存地区について、地域住民と協議する検討部会を開催 令和6年度:重伝建地区先進地視察(福井県南越前町今庄宿)を実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<div><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している</div> <div><input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</div>	定期的に地元住民との協議を行っているほか、重伝建地区の先進地視察を開催し、町並み保存の機運醸成を図っている。		

状況を示す写真や資料等

重伝建地区先進地視察(福井県南越前町今庄宿)(R6.9.27)



修理・修景家屋 視察状況



旧昭和会館にて今庄旅籠塾のとりくみについて説明を受け意見交換を行った



旧京藤甚五郎家住宅(県指定)



今庄宿の街並み

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況
豊公園再整備事業		<div><input type="checkbox"/>実施済</div> <div><input checked="" type="checkbox"/>実施中</div> <div><input type="checkbox"/>未着手</div>
事業期間	平成25年度～令和6年度	
支援事業名	防災・安全交付金事業(災害に強い魅力ある都市公園づくり) 令和元年度～令和6年度、市単独事業	
計画に記載している内容	公園施設の老朽化が著しく、史跡の活用も十分なされていないことから、史跡指定範囲内における史跡の活用を検討し、公園の再整備を進める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
JR長浜駅から長浜城歴史博物館までの園路および園路南側の雑壇の整備が完了した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<div><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している</div> <div><input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</div>	整備事業の進捗は交付金の配分次第となっている。	

状況を示す写真や資料等

整備状況(旧児童遊園)



豊公園整備計画平面

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)	現在の状況
木之本宿道路整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(まちなかウォークアブル推進事業) 令和5年度～令和9年度、市単独事業

計画に記載している内容 伝統的な建造物が数多く残る北国街道木之本宿区域を縦貫し、地域住民の生活空間となっている国道303号及び市道木之本穴師余呉線において、歴史的な町並みに調和した道路の美装化、路側帯の設置等を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

北国街道南側の交差点から明楽寺前までの道路の美装化、路側帯の設置および消雪設備の設置が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

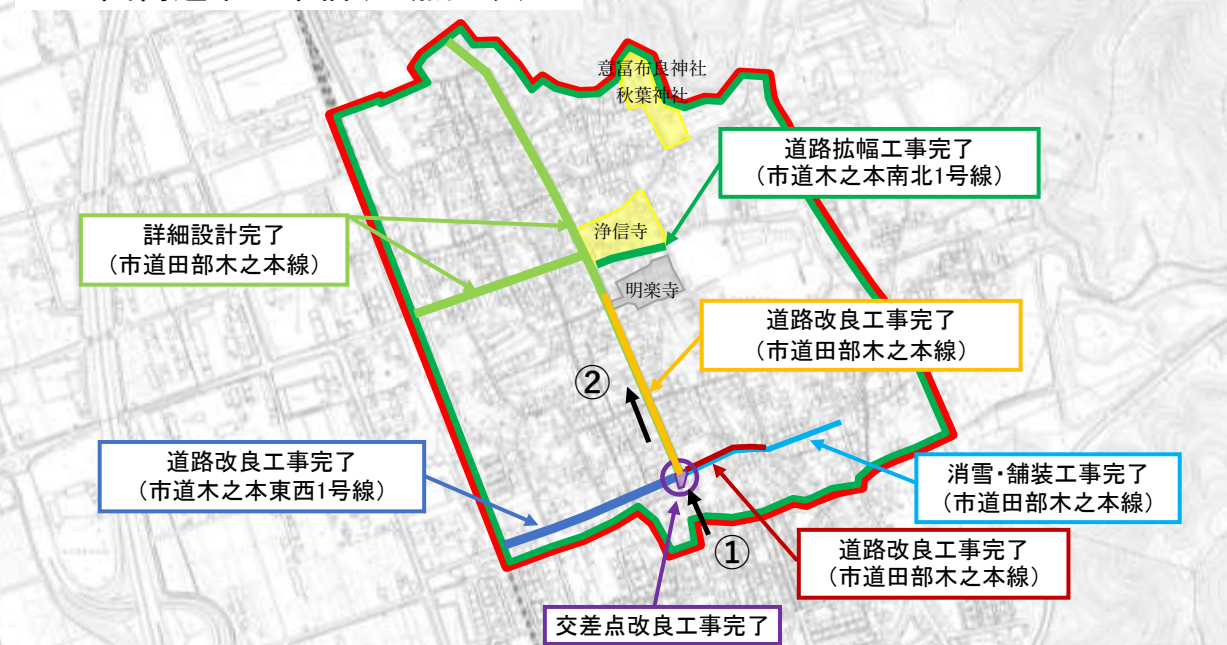
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

北国街道南側交差点は、地元自治会等からの危険な交差点との意見を受けて工事を行った。しかし、保存すべき歴史的景観であったとの協議会意見も踏まえ、今後は、市民生活と歴史的景観の双方にとって適切な事業の実施について検討する。

状況を示す写真や資料等

北国街道木之本宿(重点区域)



①北国街道南側交差点



②市道田部木之本線

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況
長浜曳山祭保存伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度～令和11年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	長浜曳山祭を保存伝承するための取組(三役修業塾、囃子保存会、伝承委員会等)を支援するとともに、保存伝承に必要な仕組みを整備・支援する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>【三役修業塾】 稽古日 太夫・三味線部門:週2～3回、振付部門:月2回～4回 塾生数 延べ24人(太夫・三味線15人、振付9人)※重複2人 活動実績 ・ながはま歌舞伎発表会(12/1文化芸術会館) ・塾生の派遣(岐阜県垂井町、兵庫県多可町、滋賀県長浜市・米原市)</p> <p>【囃子保存会】 稽古日 各山組にて週1回土曜or日曜 稽古者数 約250人 活動実績 ・曳山博物館ナイトミュージアムでの演奏 ・長浜市立西中学校「伝統文化学習講座」、長浜小学校「長浜再発見・囃子クラブ」へ講師派遣 ・長浜まちなか地域づくり連合会「こどもDeまんなかひろば」へ講師派遣 ・曳山祭ながはま歌舞伎(文化芸術会館)、鍛冶屋太閤踊りでの演奏 ・豊公まつりでの演奏、滋賀県消防大会での演奏</p> <p>【伝承委員会】 ・長浜西中学伝統文化教室 4回(曳山生き物探し、博物館見学、籤取式・裸参り体験、蒔絵体験) ・西中新2年生による長浜曳山まつりガイドの支援(毎年4月) ・若衆向けの楽衆塾の開催(着物着付け教室)</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	長浜曳山まつり推進会議などの各地域団体と連携しながら事業を進めていく。また、学校(長浜市立西中学校等)と連携しながら、学生向けの曳山まつりガイド事業、体験ワークショップを推進していく。三役修業塾については、公演だけでなく、稽古や三役の活動過程を積極的に地域公開していく。	
状況を示す写真や資料等		
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>ながはま歌舞伎(文化芸術会館)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ながはま歌舞伎での囃子演奏</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>三役修業塾 体験ワークショップ</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>西中文化教室(裸参り体験)</p> </div> </div>		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況
きもの大園遊会開催事業		<div><input type="checkbox"/>実施済</div> <div><input checked="" type="checkbox"/>実施中</div> <div><input type="checkbox"/>未着手</div>
事業期間	平成22年度～令和11年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	大通寺を会場とした催事を開催して来街を促すことにより、門前町のにぎわいを創出して良好な市街地環境を形成するとともに、建造物の価値を再認識することにより良好な維持管理に資する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和6年度は着物をテーマとしたイベントとして「長浜 kimono AWARDS(きものアワード)」を実施した。 ○開催日時:10月12日(土) ○事業内容:①大通寺前山門前表参道をランウェイに見立て、着物ファッションショーコンテスト・出場校9校17チーム57名の参加、18体の出展 ②長浜カルチャー講座・着物姿で参加する7つの様々な講座を開講 77名が参加 ③長浜まちなかフェア・大通寺境内において地酒飲み比べやグルメ、物産フェアなどを実施・プレミアムチケットを92セット販売		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<div><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している</div> <div><input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</div>	着物の似合うまち・長浜を目指しながら、柔軟な開催体系を検討する中、令和6年度は服飾デザイン系の学生による着物ファッションショーコンテストを主体とした新イベントを実施した。今回の事業結果を踏まえ、次年度以降も継続を検討する。	
状況を示す写真や資料等		

長浜kimono AWARDS(当日の様子)



着物ファッションショーコンテスト①



着物ファッションショーコンテスト②



着物ファッションショーコンテスト③



カルチャー講座①



カルチャー講座②



イベント当日大通寺境内の様子

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況
ふるさと夏まつり「地蔵縁日」開催事業		<div><input type="checkbox"/>実施済</div> <div><input checked="" type="checkbox"/>実施中</div> <div><input type="checkbox"/>未着手</div>
事業期間	令和2年度～令和11年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	湖北の名刹・浄信寺で1年に1度催される木之本地蔵大菩薩の大縁日にあわせて、門前の北国街道及び地蔵坂でふるさと夏まつり「地蔵縁日」を継続的に開催する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
大縁日に合わせ、露店出店及び花火大会の開催を行った。事業に取り組むことで、宿場町の賑わいを創出するとともに、宿場町の伝統的な町並みに触れる機会を提供し、地域の歴史や伝統を学び直す機会を作った。 [開催概要]露店等の出店:8月22日(木)～25日(日) 9:00～21:30(初日17:00～)、花火大会:8月25日(日) 20:00～20:30 [実績等]期間中入込客数10万人(推計)、出店数134店舗、煙火8:00発		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<div><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している</div> <div><input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</div>	混雑時の雑踏事故や花火打上時の路上駐車等が懸念されることから、事業継続のために、より安全に配慮した事業となるように見直しを進める。	
状況を示す写真や資料等		



地蔵菩薩大銅像(木之本地蔵院)



地蔵坂の賑わい



木之本大花火大会(8/25)



木之本大花火大会(8/25)



安全確保に向けた交通規制及び警備員の配置

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和6年度		評価対象年度
現在の状況		長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)
<div>木之本宿まちなか再生事業</div> <div><input type="checkbox"/>実施済 <input checked="" type="checkbox"/>実施中 <input type="checkbox"/>未着手</div>		
事業期間	令和2年度～令和11年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	景観形成重点区域にも指定され、歴史的建造物が多く現存する木之本宿において、往時の賑わいを取り戻すため、空き家や空き店舗の利活用の実態調査や利活用のコンサルティング、移住相談窓口、古民家見学ツアーなどに取り組む。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
空き家や空き店舗の利活用の実態調査 7件 空き家や空き店舗の利活用のコンサルティング件数 4件 移住・定住相談窓口 17件 成約件数 3件 (※R6.12現在)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<div><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している <input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</div>	空き家・空き店舗の調査・利活用件数がピーク時から減少傾向にあり、認知度の向上が必要であるため、SNS活用やちらし作成等、取組に関して周知を図る。	
状況を示す写真や資料等		



空き家活用相談所



すむすむ交流会(移住者・地域住民の交流の場づくり)



チャレンジショップ(短期的空き家・空き店舗等利活用事業)



空き家活用イベント

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

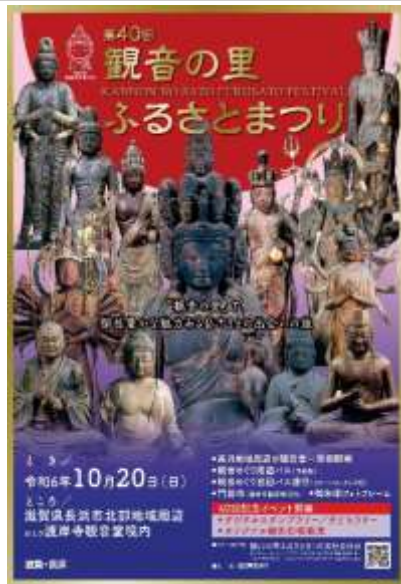
評価対象年度		令和6年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況
北国街道木之本宿にぎわい創出事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度～令和11年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	景観形成重点区域にも指定され、歴史的建造物が多く現存する木之本宿において、往時の賑わいを取り戻すため、北国街道沿いでのおきのもと宿街道まつりや、登録有形文化財であるおきのもと交遊館での企画展示、飛鳥時代の創建と伝わる歴史ある意富布良神社での夕涼み横丁などに取り組む。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
宿場町や門前町としての歴史的な町並みや醸造業等の伝統産業、伝統行事などの魅力を活かしたイベントを行うことで、宿場町の賑わいを創出するとともに、宿場町の伝統的な町並みに触れる機会を提供し、地域の歴史や伝統を学び直す機会を作った。 [主な事業]おきのもと交遊館企画展示(年3回)、ジャパンコーヒーフェスティバル、木之本一箱古本市ほか		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	イベントの開催による短期的な効果を出すのではなく、街並みや歴史を生かしたイベントを企画し、街の魅力を引き出すことで、より継続的ににぎわいの創出を図る。	
状況を示す写真や資料等		
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>津軽三味線の演奏</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>春展示(湖北の鉄道)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>夏展示(KINOMOリメイク展)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>水のジャパンコーヒーフェスティバル2024 in木之本</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>秋展示(明治の水害)</p> </div> </div>		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和6年度		評価対象年度
現在の状況		長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)
<div><input type="checkbox"/>実施済 <input checked="" type="checkbox"/>実施中 <input type="checkbox"/>未着手</div>		観音の里ふるさとまつり開催事業
事業期間	平成23年度～令和11年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	高月地域の観音様を拝観する催事を開催することにより、これらの観音様を守り伝えてきた先人の心と美しい観音像を後世に継承する意識の向上を図ることができる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
第40回観音の里ふるさとまつりを開催した。地域内外への観音文化の周知や、地域の方々との交流の機会を作ることができた。 開催日: 令和6年10月20日/事業内容: 周遊バス・巡回バスの運行、門前市、40回記念事業(デジタルスタンプラリー、こどもラリー、御朱印帳作成)等/入込客数: 16,000人(昨年比+1,000人)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<div><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している <input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</div>	観光誘客だけでなく地元住民に観音文化への興味を喚起し、事業継続のために地域での交流や文化の継承が図れるよう事業を進めていく。	

状況を示す写真や資料等



観音の里ふるさとまつりチラシ



デジタルスタンプラリーチラシ



当日の様子(R6.10.20)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

令和6年度		評価対象年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況
文化財の調査		<div><input type="checkbox"/>実施済</div> <div><input checked="" type="checkbox"/>実施中</div> <div><input type="checkbox"/>未着手</div>
計画に記載している内容	市内に分布する文化財について調査を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
長浜曳山祭の曳山事前調査:高砂山(高欄)、孔雀山(鬼隊・鳥衾)、常磐山(引出梯子・舵棒受台)、諫鼓山(車輪・車軸、諫鼓鶏彫刻・舞台障子)、長刀山(車輪・車軸)、青海山(胴幕ガラス)、萬歳樓(花道板・楽屋梯子等) 宮川祭の曳山(颯々館)事前調査:修理要望のあった曳山の破損箇所(屋根・幟竿)の調査を実施した。 鍛冶屋太閤踊り(道具類)事前調査:修理要望のあった鍛冶屋太閤踊りで使用する道具類(太鼓)の調査を実施した。 大通寺文書調査:大通寺の茶所・因講解体に伴い発見された文書等の調査を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<div><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している</div> <div><input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</div>		引き続き、指定文化財の適切な保存修理に向けて調査を行っていく。

状況を示す写真や資料等



) 長浜曳山祭常磐山(舵棒受台)



長浜曳山祭諫鼓山(車輪)



長浜曳山祭諫鼓山(諫鼓鶏彫刻)



長浜曳山祭諫鼓山(舞台障子)



宮川祭の曳山【颯々館】(幟竿)



大通寺茶所・因講文書

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況
文化財の保存・修理等	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	適切な保存が図られるよう計画的に指定等文化財の修理等を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
【建造物防災施設(2件)】①国宝宝厳寺唐門等防災施設整備②国宝都久夫須麻神社本殿防災施設整備 【民俗文化財保存修理(2件)】 ①長浜曳山祭保存修理: 青海山曳山(花道板等)、翁山懸装品(毛槍)、高砂山懸装品(面幕)、鳳凰山曳山(楽屋襖、三役台天井絵) ②富田人形保存修理: 人形首(娘)、男の足(本足)2対 【美術工芸品保存修理(1件)】①真蔵院(仏涅槃図)保存修理		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	長浜曳山祭行事・曳山保存専門委員会や長浜市文化財保護審議会などの専門家の指導のもと、順調に保存修理事業を進めている。引き続き文化財の適正な保存管理のため、定期的なメンテナンス等は欠かせない。ただし、公的支援があったとしても、所有者が個人や任意団体の場合、費用を負担し続けていくことは難しく、今後の資金調達が課題である。	
状況を示す写真や資料等		
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>長浜曳山祭鳳凰山(楽屋襖) 修理監理</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>長浜曳山祭鳳凰山(楽屋襖) 修理監</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>長浜曳山祭高砂山(面幕)修理監理</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>長浜曳山祭翁山(毛槍)修理監理</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>富田人形(首・足) 保存修理</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>真蔵院(仏涅槃図) 修理監理</p> </div> </div>		

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況
文化財の防災	<div><input type="checkbox"/>実施済</div> <div><input checked="" type="checkbox"/>実施中</div> <div><input type="checkbox"/>未着手</div>	
計画に記載している内容	文化財の火災被害を少なくするため、自動火災報知設備及び消火器具の設置及び更新を図る。さらに、広く防災意識を高揚するため、所有者、管理者、地域住民及び消防署が一体となった防火訓練を定期的を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
文化財防火デーに伴い、湖北地域消防本部の管轄する市内3消防署(長浜消防署・東浅井分署・伊香分署)の主催で、第71回文化財防火運動を実施した。防火訓練・防火査察を通して、地域消防団や消防署の初動体制を再度確認するとともに、地域住民の文化財愛護思想の高揚を図った。 防火訓練: 令和7年1月19日善隆寺(和蔵堂)、令和7年1月26日長濱八幡宮・常楽寺 防火査察: 26箇所		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<div><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している</div> <div><input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</div>	文化財に関わる所有者等によって、文化財防災に対する意識に差がある。将来に承継すべき貴重な財産である文化財を火災や地震などから守るため、引き続き災害発生時の防災体制や消防設備の整備、自衛消防訓練の実施の呼びかけを行っていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		



令和7年1月19日 文化財防火デー消防訓練(善隆寺(和蔵堂))

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況
埋蔵文化財の取扱い		<div><input type="checkbox"/>実施済</div> <div><input checked="" type="checkbox"/>実施中</div> <div><input type="checkbox"/>未着手</div>
計画に記載している内容	埋蔵文化財の保護について、関係各課と連携を図り、開発行為等の情報を共有している。また事業者と事前協議を行い、必要に応じて試掘調査を行うなど開発行為と文化財保護との調整を図っている。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
関係機関と連携を図り、必要に応じて埋蔵文化財の試掘調査や本掘調査を実施した。 発掘届出数(139)、立会調査件数(5)、試掘調査件数(20)、本掘調査件数(3) 令和5年度:立会調査1件、試掘調査28件、本掘調査4件		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<div><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している</div> <div><input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</div>		民間開発に伴う発掘調査は、調査時期や頻度が定まらないため、調査を実施するにあたり、臨機応変な対応が求められる。

状況を示す写真や資料等



内保城遺跡第4次調査 完掘状況



井口屋敷遺跡第2次調査 遺構完掘状況

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

令和6年度		評価対象年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		年月日
		掲載紙等
新たな拠点 期待高く 江北図書館の新館オープン	R6.4.1	中日新聞
3年ぶりの晴天 輝く子ども役者	R6.4.20	中日新聞
沿道埋める楽しい露店 夏中さん始まる	R6.7.8	中日新聞
木之本地蔵院「大縁日」始まる	R6.8.23	中日新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
◎江北図書館新館オープン:江北図書館の新館がオープン、古本市「いろはに本箱」も開催され盛り上がりを見せた。 ◎長浜曳山祭:諫鼓山、青海山、月宮殿、春日山の順に子ども歌舞伎を披露し、観光客の目を楽しませた。 ◎夏中:長浜別院大通寺の夏中法要に合わせて開催、約300メートルの通りは大勢の人でにぎわった。 ◎木之本地蔵院「大縁日」:眼の仏様として知られる木之本地蔵縁日開催。多くの露店が並び多くの人でにぎわいを見せた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画の進捗に影響あり □計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		



▲中日新聞 令和6年4月20日

評価軸⑤-2

効果・影響等に関する報道

評価対象年度		令和6年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		
年月日	掲載紙等	
甲冑武者勇ましく 長浜「豊公まつり」凱旋再現練り歩く	R6.10.14	中日新聞
リメイク着物姿でモデル決めポーズ	R6.10.14	中日新聞
曳山が博物館から里帰り 来春出番の4基交代式	R6.10.17	中日新聞
様々な観音巡って堪能	R6.10.17	読売新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
◎豊公まつり:豊公まつりが開催。約80人の武者行列が町中を練り歩き観光客らの目を楽しませた。 ◎長浜kimono AWARDS:長浜別院大通寺の参道を使ったリメイク着物のファッションショーを開催。華やいだ雰囲気を醸成した。 ◎曳山交代式:2025年に出番となる曳山を収蔵庫から山蔵へ戻すため曳山が城下町を巡行し観光客の目を楽しませた。 ◎観音の里ふるさと巡り:約30か所の観音堂が予約なしで拝観可能。市内の住民や観光客でにぎわった。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		

状況を示す写真や資料等



▼中日新聞 令和6年10月14日

10/14 中日

甲冑武者勇ましく

羽楽(豊臣)秀吉による「関ヶ原の戦い」の凱旋を再現した「豊公まつり」が13日、長浜市南浜町の豊国神社であり、甲冑を身にまとった約80人の武者行列の一行が町中を練り歩いた。

戦後太鼓を先頭に、浅見宣義市長扮する豊臣秀吉ら大人武者、稚児行列、子ども武者が続いた。秀吉を奉る豊国神社を出発し、大手門通り商店街を通って長浜八幡宮へ向かった。

町中で舞とどきをする大人、武者行列、稚児行列、子ども武者が続いた。秀吉を奉る豊国神社を出発し、大手門通り商店街を通って長浜八幡宮へ向かった。

長浜「豊公まつり」
凱旋再現 練り歩く

子ども武者は豊臣姓を与えられる前の羽楽秀吉、妻のねねを始め、関ヶ原の戦いで活躍した7人の家臣(一躍ケ岳七本槍)の討りで列をつくった。道中で子ども武者が乗りを上げる場面もあり、見物人から大きな拍手が送られた。

豊国神社の宮廷話などをつくる豊公まつり実行委員会の主催で、28回目。羽楽秀吉役を務めた青木雄三さん(12)は「緊張したけど豪華な衣装をもらってうれしい。いい経験になった」と語った。

(平子宗太郎)

▲中日新聞 令和6年10月14日

9/14 中日

リメイク着物姿でモデル決めポーズ

長浜で学生のコンテスト

学生によるリメイク着物部の長浜別院大通寺などでのファッションコンテスト「長浜kimono AWARDS」(きものアワード)が12日、長浜市中心「ム」にて、着物地を基にしたファッション性の高い衣装を制作。大通寺山門前の表参道に敷かれたレッドカーペットの上をモデルが歩き、ポーズを決めた。

たファッション性の高い衣装を制作。大通寺山門前の表参道に敷かれたレッドカーペットの上をモデルが歩き、ポーズを決めた。

大通寺の山門の前でポーズを決めるモデル＝長浜市元浜町で

都市立芸術大など9校から17チームが参加。モデルの川津明日香さんや声優の山口勝平さんらがゲストに呼ばれ、コンテストの審査員も務めた。

地元の呉服店によるショーや市民がモデル気分を演出ウエイを歩く時間も。この日は、着物を着た人のみ参加できるカルチャー教室も各施設で開かれ、町が着物一色に染まった。

着物を着て訪れた木之本町の酒井詠理佳さんは「若さあふれる学生たちのアイデアは着物の概念を打ち破っていた。楽しませてもらった」と話した。

(平子宗太郎)

長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)

市民を対象としたアンケート結果

計画に記載
している内容

市民にとって長浜は貴重な歴史や伝統が残された町であると強く認識されており、歴史的・文化的資源に磨きをかける取り組みを強力に推進することで、その個性や魅力を高めることにつながっていく。市民の歴史・文化に対する愛着心を深めることができるとともに、交流人口の拡大や観光振興など多方面に及ぶ効果も期待され、さらには地域経済の活性化も期待できる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和6年度市民意識調査の結果では、「長浜市の「良いところ」、「愛着誇りを感じる場所」は、どのようなことですか」という問いに対して、「歴史と伝統があるまち」を選択する人が全体の2番目に多く、46.0%となっている。また、施策別の評価については「伝統・歴史・文化の継承」が満足度1位となり、「美しい景観の保全と創出」が5位となった。今後も市民の歴史・伝統、景観の保全に対する意識の高さを保つためにも歴史的風致の維持向上に取り組んでいく必要がある。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり

□計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

(6) 長浜市の「良いところ」、「愛着・誇りを感じる場所」

あなたが思う長浜市の「良いところ」、「愛着や誇りを感じる場所」は、どのようなことですか。次の中から選んでください。(2つまで)

- 「自然や緑が豊かなまち」が 55.4%、「歴史と伝統があるまち」が 46.0%であり、次いで「快適な居住空間があるまち」が 22.3%、「人柄や風習、郷土愛などの地域性」が 19.9%であった。



調査期間

令和6年4月26日～5月10日

調査対象者

18歳以上の長浜市民

調査配布数

4,000件

有効回答数

1,316件

有効回収率

②施策別の評価

- 満足度については、多くの施策で「どちらともいえない」が多かったが、下記は「まあまあ満足している」以上の上位15位の施策となっている。

No.	政策	施策	満足度
4-8	産業・交流	伝統・歴史・文化の継承	38.5
3-12	健康・福祉	健診などを通じた個人の健康づくりの推進	36.3
1-5	市民・自治	自治会の維持や地域の見守り活動	33.1
5-2	安心・安全	交通安全対策	32.5
4-9	産業・交流	美しい景観の保全と創出	32.5
5-1	安心・安全	防犯対策	30.0
2-2	教育・文化	学校での教育環境の充実	29.6
6-5	環境・都市	緑の確保と公園の整備	29.0
6-10	環境・都市	道路・橋・下水道などの整備	29.0
3-5	健康・福祉	母子保健と子どもの医療サービス	28.8
2-8	教育・文化	文化芸術に触れる機会	28.6
1-2	市民・自治	女性も男性も共に参加する社会づくり	27.6
1-1	市民・自治	人権を尊重する社会づくり	27.4
2-3	教育・文化	地域と学校が連携した教育環境づくり	26.6
3-8	健康・福祉	高齢者への介護や福祉のサービス	25.5

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 長浜市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時: 令和7年1月29日(水)14時～	
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北国街道木之本宿の道路整備事業が実施されたことは非常に残念な結果である。本協議会の中で、歴史的な道路の改変について報告された際に、経過報告や協議会意見の反映について多くの意見が出されたことについて評価シートに反映させること。 ・伝統的建造物群保存地区選定調査検討事業について、現地視察した状況及び成果がわかるように、写真を複数掲載するなど報告内容の充実を図ること。 ・大通寺の講場について、建物の老朽化や所有者の意向でやむを得ず解体されたことが報告されたが、歴史的建造物を保存できなかった経緯については、評価シートに記述すること。 ・大通寺講場解体に伴う古文書調査について、古文書の内容や復元図面、写真などの活用を図ること、また、講場の建築様式や講の歴史を伝える説明版を設置するなど、担当課において対応を検討すること。 	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北国街道木之本宿南交差点の整備に関して、今回のように歴史的な面と市民生活の両面から事業の検討が必要な場合には、解決に向けて庁内の関係課で協議の場を持つように努める。 ・長浜市では、町家のストックを活かしたまちづくりを進め、実績を上げてきたが、まちなかの「町家」の保存、活用に対して、関係課の連協及び市民の協力によって、今後も積極的に取り組んでいく。そのなかで、重要伝統的建造物群保存地区の選定は極めて有効なまちづくり手法であり、北国街道木之本宿においては、地元との協議、専門家の助言を得ながら、実現に向けて持続的な取り組みを継続していく。 ・歴史まちづくり計画の推進にあたっては、関係各課の連協と協力が不可欠である。各担当課の事業で「歴史まちづくり計画」の一環として実施する事業については、目標・整備手法などについて、協議、調整を図るための連絡会議を開催するなど、情報共有の場を設けるように努める。 	